

科目名		電気工事実習			
担当教員		斉藤、町田、清野		実務授業の有無	有
対象学科	電気電子工学科1年	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	160時間
授業概要、目的、授業の進め方	一般用電気工作物のケーブル配線工事、金属管工事、合成樹脂管工事を組み合わせた実習課題を時間内に作成する。配線図から、施工計画、材料準備、施工、検査を行う。				
学習目標 (到達目標)	電気工事士技能試験を合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	電気工事実技教科書 (独) 雇用・能力開発機構、配布プリント等				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ケーブル配線工事		分電盤からのコンセント回路とスイッチを使った照明回路。		
2	金属管工事		E管及びC管を使って金属管工事を行う。		
3	合成樹脂管工事		VE管を使って合成樹脂管工事を行う。		
4	シーケンスの基礎		シーケンス制御に関する基礎知識の学習。		
5	電動機工事		電磁開閉器を使った電動機工事		
6	電気工事士技能試験問題		電気工事士技能試験公表問題を練習。		
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	評価試験			
5 %	15 %	80 %	%	作業着、工具、安全靴、帽子等、安全管理をしっかりとしましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	電気技術者として4年の実務。第1種電気工事士				